

2007 2006年度コスモ石油エコカード基金活動報告書 第5期:2006年4月1日~2007年3月31日



秦嶺山脈に棲むキンシコウの親子

【秦嶺山脈 森林・生態系回復プロジェクト】

植林を通して 野生動物の生息環境改善に 取り組んでいます

過去2年間で15,000本の植林と生態系回復の観察を続けてきました。

秦嶺山脈は、中国の古都、西安市から南西に200~400kmほど離れた場所に位置し、中国南北の分水嶺となっています。同山脈は約1,500kmにわたりそびえ立ち、同山脈北部の黄土高原付近は年間降水量が700mm程度とされています。日本よりも乾燥地域で、水資源豊かな沿海部とは景観はもとより、その影響は経済活動にまで及んでいます。コスモ石油エコカード基金では、2005年度から植林活動を開始し、過去2年間で15,000本の植林を行い、生態系改善状況の観察を続けております。

森林伐採事件が発生しましたが、西北大学の迅速な対処が解決の道すじとなりました。

順調に継続してきたプロジェクトですが、2006年8月に西北大学が2,000本の樹木の不法伐採を中国陝西省で確認しました。これらは、地元の金鉞開発会社の伐採が原因でした。しかし、西北大学が迅速に調査団を派遣し、省政府と協議した結果、陝西省・金鉞開発会社・西北大学が6,000本の森林回復に合意し、現地関係者も厳重に処分されました。同事件に対しては、中国国内からの好意的な意見が多く、結果的に中国の環境保全意識の向上になったと西北大学から報告を頂きました。



林道跡地に植林している様子



植林サイトの麓に設置している活動紹介の掲示板

